

ある牛の巨体が並ぶ牛舎に入ってみると、人影が目に入った。熊手のような長い棒を持って作業していたのは、里親の広田順一(55)宅に今春から留学している、大野熊悟(4年)。「埼玉」と樋口晶純(5年)。「東京」の2人だった。順一の三男で唯一の地元生、翔吾(6年)と放課後、牛の世話をするのが日課だ。

棒を動かしながら晶純が説明した。「牛のふんを溝に落としてい

5 心の中のつぼみ

翔吾は、トウモロコシと大豆かすの混ざった餌をシャベルですくって牛に与えている。順一は「2人にシャベルを持たせても、また力がないから。餌をやる仕事は時間がかかっちゃう」と笑う。

■「弟」に硬さ

晶純は、美利河小にて、自分も留学を決めた。熊悟もテレビで美



牛に餌を与える翔吾(中央)

(中1)の影響もあって、利河小の番組を見て、留学に挑戦した。「美利河の自然がすてきで

誰かが水を運んでくれると、「ありがとうございます」とお礼を言う。でも、どこか硬さの残る「弟」たちに、翔吾は少し物足りなさを感している。「もっと、やんちゃでいいよ」とエールを送る。翔吾の母、明美(45)も「まだ緊張して中(中)のつぼみを開き

膨らみゆいゆい

(広川) 掲載す

長万部のNPO

親しくした子ら招待

移住の女性 呼びかけ 気仙沼から3家族

【長万部】東日本大震災で親を亡くした子どもたちを長万部に招こうと、NPO法人「寺子屋 in 長万部」が設立され、16日から宮城県気仙沼市の3家族11人を初めて受け入れる。同法人は町に移住した幡野千不子さん(68)の呼び掛けに町内外の有志が賛同して設立。幡野さんは「子どもたちを毎年招き、夢をはぐくむきっかけになるような体験をしてもらいたい」と話している。(森奈津子)

幡野さんは、夫の純さんが東京理科大学を務めていることから、同大長万部校舎がある長万部に移住した。震災後は、被災地の子どもを手助けをしようと考えるようになり、町内外の賛同者とともに今春NPO法人を設立し、自身が理事長となった。

必要な経費は賛助会員の会費でまかなう予定。すでに幡野さん夫妻の知人など約260人の会員が集まり、気仙沼市を通じて参加者を募った。

また、同法人は、17日午後6時半から、東京で活躍する尺八奏者とピアノストを招いた音楽会を町学習文化センターで開催。2人の奏者に音楽家になるまでの道のりなども語ってもらう。一般の人にも無料で開放する。



被災した子どもや町民のために開催するコンサートの手にする幡野千不子さん

幡野さんは「子どもたちには気にかけている人がいるんだよというメッセージを送り、被災しなかった私たちが災害の問題を共有できる場になれば」と話している。問い合わせは幡野さん ☎090・8032・7348へ。

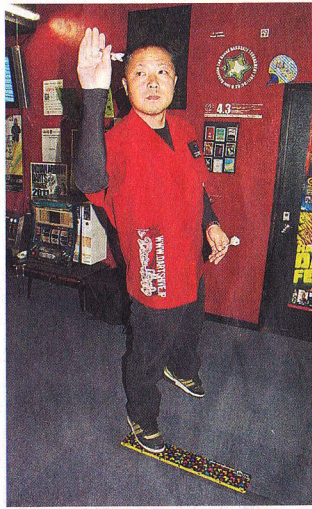
ダーツで全国へ

厚沢部 沢口さん挑戦4度で

【厚沢部】町内新町1には今年が4回目の会社役員沢口昌大さん(39)が4、5の両日、横浜市内で開かれる競技ダーツの全国大会

「バーン日本ツアー2012」(バーン実行委主催)に出場する。4回目の挑戦で初の全国大会出場を果たした沢口さんは「対戦相手は強い人ばかりだが頑張りたい」と意欲を燃やしている。

同大会は、ダーツ機の輸入・販売などを行うブルシュータージャパン(横浜市)が毎年開いている。沢口さんは競技ダーツ歴約4年で、一昨年から道内の大会で上位に入るようになった新鋭。「バーン日本ツアー



全国大会へ向け練習に打ち込む沢口昌大さん

は思っていなかった。支援してくれた人に応えるために、6時に「子供ふるワッシュイまつり開幕。ご当地ソングアレンジした「オアレンジ」が7、8の両町の駅前大通りに開催される。まつりは、7日

放水など真剣に消防団員が演習【上ノ国】町消(田端武光団長)合演習訓練が7日、役場前駐車場で。災害現場での応の向上と指揮系統

